

日本ロールシャッハ学会第17回大会を花園大学で開催させていただくことになりました。思い起こすと、私自身はロールシャッハ・テストをクロッパー法で学び、病院での臨床実践も二十数年、同技法で行ってききましたが、現在、大学院での後進の教育は、片口法と包括システムを中心に行ってきております。また、京都という土地柄か、私の周りでは、クロッパー法、片口法、包括システム、阪大法、名大法それぞれの技法に準拠する方が等分におられるようにも思います。いずれにせよ、各技法を学ぶにつれ、それぞれの妙技を感じないわけにはいきませんし、常に今日的な視点を習得するための研鑽を継続する必要性も感じております。

そこで、今大会を企画するにあたり、「ロールシャッハの技法システムを超えた普遍性」をメインテーマに、まず、今日的な視点については、とくに教育講演のなかで「最近の臨床事例にみられる特異なロールシャッハ反応について」と「子どものロールシャッハ法」について考える機会にしたいと思っております。また、シンポジウムでは、「ロールシャッハ・テストは何を語るのか—学派のもたらす異なる入口、クライアント理解という普遍の出口—」をテーマに今後の課題についても議論を深めればと考えております。さらに、ワークショップでは、各技法についてだけでなく、「継起分析と力動的理解」、「報告書の書き方」、「テストバッテリーの活用法」などさまざまな切り口で議論を深めればと考えております。

学会のアカデミックな雰囲気にはたつた後は、秋の京都を満喫していただければ幸いですので、是非、たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

2013年5月1日

日本ロールシャッハ学会第17回大会

準備委員長 小海宏之 (花園大学)

※このご案内に同封されているもの

- 1) 日本ロールシャッハ学会第17回大会 第1号通信 2) 大会・ワークショップ参加申込書 (往復はがき)
3) 払込取扱書 (ゆうちょ銀行) 4) 研究発表・ワークショップ事例提出申込書

I. 会 期 2013年11月2日 (土) ~11月3日 (日)

II. 会 場 花園大学 〒604-8456 京都府京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1

III. 行 事 教育講演・シンポジウム・ワークショップ・研究発表・理事会・総会・懇親会ほか

IV. 大会スケジュール (予定)

第1日目 11月2日(土)

9:30~10:00	10:00~11:00	11:00~12:00	12:00~13:30	13:30~14:30	14:45~17:15	17:30~19:30
受付	教育講演1	教育講演2	昼休み 理事会	総会	シンポジウム	懇親会

第2日目 11月3日(日)

9:30~10:00	10:00~12:45	12:45~13:45	13:50~15:20	15:30~17:00
受付	ワークショップ	昼休み	一般研究発表① 事例研究発表①	一般研究発表② 事例研究発表②

V. 研究発表 (一般研究・事例研究)

- 発表時間は30分(一般研究)と90分(事例研究)の2種類です。発表時間は希望通りにならない場合もあります。
- 口頭発表者・連名発表者ともに、本学会会員であることが発表者要件となります。未入会の方は、日本ロールシャッハ学会事務局(本案内XVIIIに記載)へ連絡し、入会手続きを行ってください。なお、入会承認には、申込から1ヶ月程度かかりますので、あらかじめご承知おきください。

3. 発表機材として、パソコン（Windows Vista、パワーポイント 2010）接続のプロジェクターを準備いたします。その他の機材利用をご希望の方は、大会事務局までお問い合わせください。
4. 発表、抄録記載要領等については、適宜、口頭発表者にご連絡いたします。

VI. 教育講演 1

「最近の臨床事例にみられる特異なロールシャッハ反応について」

講師：上芝功博（法務省矯正研修所）

司会：森田美弥子（名古屋大学大学院）

VII. 教育講演 2

「子どものロールシャッハ法」

講師：松本真理子（名古屋大学）

司会：小川俊樹（放送大学大学院）

VIII. シンポジウム

「ロールシャッハ・テストは何を語るのか

—学派のもたらす異なる入口、クライアント理解という普遍の出口—

事例提供：二宮ひとみ（大阪医科大学神経精神医学教室）

指定討論：高橋依子（大阪樟蔭女子大学）：包括システムの立場から

沼 初枝（立正大学）：片口法の立場から

橋本朋広（大阪府立大学）：阪大法の立場から

高橋 昇（人間環境大学）：名大法の立場から

司 会：小海宏之（花園大学）

IX. ワークショップ

以下の講師陣と内容でワークショップを開催いたします。コースによっては事例提供者を募っております。皆様のご参加ならびに事例提供をおまわししています。なお、ワークショップ料金は大会参加費の中に含まれていません。

1. 片口法によるスコアリングと解釈の基礎

講師：藤岡新治（専修大学）

事例提供者：長畑 萌（専修大学大学院博士後期課程）

内容：本ワークショップでは、「スコアリングと解釈の基礎」がテーマですので、最初に片口安史先生のロ・テスト研究の足跡や臨床的立場、片口法におけるスコアリングの特徴、解釈の手順などについてお話したいと思います。次に、実際の事例を通して、具体的に、個々の反応のスコアリングや解釈の進め方について検討を行います。少しでも皆さんの日々の臨床のお役に立てればと考えております。

2. 包括システム入門編 ※講義形式

講師：小西宏幸（大阪大谷大学）

内容：このコースでは、これから包括システムを用いる方、既に使用しているものの自信がない方を対象に、この体系の原理や要点を解説します。時間の制約上、すべての変数や指標を網羅できませんので、前半はコード化（スコアリング）に不可欠な要因を、後半は解釈の際に知っておくと便利な諸知見をお伝えしたいと思います。その過程において、「認知3側面が難しい」「包括システムは言語表現（内容）の分析はしない？」等、包括システムの研修会で生じる質問や誤解にも、いくつか言及できればと考えております。

3. 阪大法スコアと形式構造解釈の実際 ※講義および事例プロトコルを用いた学習

講師：福永知子（関西ロールシャッハ研究会）

内容：阪大法スコアの大半はクロッパー法に基づくが、反応領域や決定因スコアに追加・修正が加わる。形体水準の評定法と文章型およびスコア記録表は阪大法独自のものである。阪大法スコアの理論的根拠を知ることが、反応を跡付け（＝追体験）しつつ被検者の在り様を理解する形式構造解釈に役立つ。その実際を臨

床事例プロトコルを用いて学習し、形式構造解釈から浮上してきた治療的接近法を共に考えたい。

4. 継起分析と力動的理解

講師：加藤志ほ子（帝京大学）

事例提供者：北村麻紀子（桜ヶ丘記念病院）

内容：継起分析とは、被験者の体験過程・葛藤解決過程・表象形成過程をロールシャッハ反応の変遷過程の中で捉えることによって力動的なパーソナリティ理解をしようとするものである。反応の変遷に伴って、領域・決定因・内容・形態水準・テスト態度のそれぞれがどのように移り変わっていくか、それぞれの変化にどのような意味があるのかを読み取る技法である。前半は講義形式で、後半は事例を通してその実際と臨床実践へどのように役立てていくかをお伝えしたい。

5. ロールシャッハ報告書の書き方 ※演習形式（自身の作成したレポート一例を持参することが参加条件）

講師：伊藤宗親（岐阜大学）

内容：報告書の書き方の要点について講義をした後に、持参したレポートを参加者自身で再構成して頂きます。その後、修正前後のレポートを自身で比較検討した上で、改善点などについて全員でディスカッションしたいと考えています。自身の作成したレポート一例をコピーも含め2部ご用意ください。自分で上手く書けなかったと思うもの（誰かに読んだ感想を聞いておくとよい）を持参するとよい。なお、修正作業は手書きで行います。

6. テストバッテリーの活用法 ※事例提供者を公募します

講師：梅津敦子（鈴泉クリニック）

内容：ロールシャッハ・テストなどの検査結果を臨床に活用していくための王道は残念ながらありません。出来るだけ丁寧に検査結果を読み解き、クライアントの生活史や病歴と照らし合わせていくという地味な作業に終始することが何より大切です。今回のワークショップではひとつの事例を読み解きながら検査結果を臨床に活かす道を探りたいと思います。ロールシャッハ・テストと WAIS（または SCT）の結果がある事例を募集します。

X. 懇親会

日時：11月2日（土） 17:30~19:30

場所：花園大学 ふるーる

※皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお、会場設営の関係上ご予約をお願いします。

XI. 大会参加の申込要領

1. 同封の参加申込書（往復はがき）に必要事項をご記入のうえ、切手を往信用・返信用の2ヶ所に貼って投函してください（2013年8月31日（土）必着）。
2. 同封の払込取扱票通信欄の該当する金額に印を付け、合計金額と必要事項をご記入のうえでお振り込みください（払込期限2013年8月31日（土））。期日までにお振り込みがない場合は、当日参加費を受付にてお支払いいただきます。なお、いったん納入された参加費は返金いたしません。
3. 第1日目（11月2日）・第2日目（11月3日）のお弁当の予約は、払込取扱票通信欄のお弁当の予約に印を付けて払込取扱票にて振込みをお願いします。お弁当代は、1食1,000円です。なお、11月2日（土）の昼食時は、ふるーる（学生食堂）が利用できますが、11月3日（日）は休業で、大学近隣に飲食店がほとんどありませんので、ご承知おきください。
4. 研究発表・ワークショップでの事例提出をご希望の方は同封した研究発表・ワークショップ事例提出申込書に必要事項をご記入のうえ、第17回大会事務局（XIV）宛にご郵送ください（2013年6月15日（土）必着）。その際の封筒および切手は各自ご用意ください。
5. 臨時会員（一般）は、原則として保健・医療・福祉・教育等の領域で心理臨床などの実務経験を持つ方とさせていただきます。
院生・学生の非会員の方はこの限りではありませんが、守秘義務の責任を負うことが条件です。なお、院生・学生の方は、当日に学生証をご提示いただきます。

XII. 大会参加費

大会参加費		予約	当日
大会参加費	本学会会員	7,000	8,000
	臨時会員(一般)	9,000	10,000
	院生・学生	5,000	6,000
懇親会費	本学会会員	5,000	5,500
	臨時会員(一般)	5,000	5,500
	院生・学生	4,500	5,000

※本案内に同封してある払込取扱票でお振込みください。ゆうちょ銀行に備え付けの用紙を使用するときは、払込金額の明細、所属を必ずお書きください。

XIII. 今後のご連絡

1. 発表申込期限(研究発表、ワークショップ事例提供)・・・2013年6月15日(土) 必着
2. 発表申込者への抄録作成要領の送付・・・2013年6月下旬
3. 抄録原稿の提出期限・・・2013年7月31日(水) 必着
4. 事前申込・諸費用の払い込み期限・・・2013年8月31日(土)
5. プログラム・抄録集の発送・・・2013年9月下旬

XIV. 第17回大会事務局の連絡先

〒604-8456 京都府京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
花園大学 心理カウンセリングセンター内 日本ロールシャッハ学会第17回大会事務局
FAX 075-277-0100 E-mail : jsrpm17@hanazono.ac.jp
郵便振替口座名 日本ロールシャッハ学会第17回大会
郵便振替口座番号 00990-4-273200

XV. 理事会

11月2日(土) 12:00~13:30 理事の先生方へ:会場、その他は学会事務局よりご連絡いたします。

XVI. 交通アクセス

会場(花園大学)へは以下の交通機関が利用できます。

1. 京都駅より
JR 嵯峨野線「円町駅」下車 徒歩8分
市バス 26・205「太子道」下車 徒歩5分
2. 京阪三条駅より
京都バス 61・62・63・64・65「西ノ京馬代町(花園大学前)」下車 徒歩2分
3. 阪急西院駅より
市バス 26・27・91・202・203・205「太子道」下車 徒歩5分
4. 四条烏丸・四条大宮より
市バス 26・91・203「太子道」下車 徒歩5分

※花園大学へのアクセスは、下記、ホームページ「大学へのアクセス」をご参照ください。

<http://www.hanazono.ac.jp/access>

XVII. 学会事務局(入会・住所変更・学会費納入などに関する連絡先)

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学総合情報メディアセンター 伊藤研究室内 日本ロールシャッハ学会事務局
E-mail jimukyoku@jsrpm.jp 学会ホームページ: <http://jsrpm.jp/>

※第17回大会の事務局ではありませんので、ご注意ください。

※入会承認には、申込から1ヶ月程度かかります。